

## 【警告】

### 使用方法

1. カニューラや延長チューブを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。  
[酸素を吸入できない恐れがあります。]
2. カニューラ類が患者の体の下に配置されないようにしてください。  
[カニューラ類がつぶれて、酸素を吸入できない恐れがあります。]
3. 高温の場所や燃えやすい物があるところでは使用しないでください。  
[火災・火傷の恐れがあります。]
4. 外したカニューラ類を裸火に近づけないでください。  
[火災・火傷の恐れがあります。]

## 【禁忌・禁止】

### 適用対象（患者）

1. 生命維持のために酸素吸入を必要とする患者には使用しないでください。  
[本装置は生命維持を目的とした機器ではありません。]
2. 酸素療法を処方された患者以外には使用しないでください。  
[健康被害の恐れがあります。]

### 併用医療機器

1. 磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）と併用しないでください。  
[MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。]「相互作用の項参照」
2. 人工呼吸器と併用しないでください。  
[性能の劣化や警報が機能しない恐れがあります。]「相互作用の項参照」
3. 電気手術器（電気メス）と併用しないでください。  
[電気メスから発生する高周波エネルギーによって本装置が誤動作を起こしたり故障する恐れがあります。また、カニューラ周辺が高濃度酸素雰囲気となることがあり、爆発または延焼の恐れがあります。]「相互作用の項参照」

### 使用方法

1. 酸素ポンベは非常用として用い、本装置と併用して使用しないでください。  
[酸素の供給に過不足を生じる恐れがあります。]
2. オイルやグリースもしくは潤滑油、石油関連製品を本装置の近くで使用しないでください。  
[有害ガスの吸入、爆発や火災および故障の恐れがあります。]
3. 麻酔薬、水素など可燃性および引火性の気体・液体を使用するところでは使用しないでください。  
[爆発や火災の恐れがあります。]

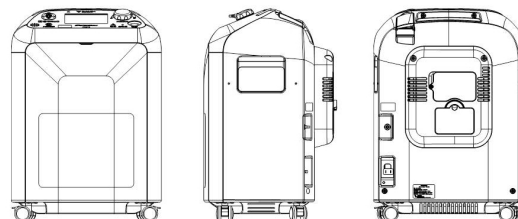
## 【形状・構造及び原理等】

本装置は、医師の処方および指示に従って使用される酸素濃縮装置であり、主に在宅酸素療法を必要とした患者が特定施設内または家庭環境において使用できる装置です。吸着筒を用いて周囲の空気から窒素を分離することにより、在宅酸素療法を意図した療養者へ必要量の高濃度酸素ガスを連続的に供給します。

また、本装置が酸素供給中に停電を検知した場合、または装置異常により酸素の精製が停止し供給が途切れた場合には、酸素ポンベ接続口からの流路を開放してポンベより酸素を供給する流路に切り替える機能を備えています。

## 形状

### 1. 外観



2. 外形寸法：（幅）×（奥行）×（高さ）  
380mm × 290mm × 540mm ±30mm

### 3. 質量

19kg ±10%

### 4. 機器の分類

- ・ 電撃に対する保護の形式による分類  
：クラス II 機器
- ・ 電撃に対する保護の程度による装着部の分類  
：BF 形装着部
- ・ 作動（運転モード）による分類  
：連続作動（運転）機器

### 5. 電氣的定格

- ・ 電圧 : AC100V
- ・ 周波数 : 50/60Hz
- ・ 電源入力 : 258VA（消費電力量：128Wh、3L/分設定時）

### 6. 電磁両立性

- ・ JIS T 0601-1-2 : 2012

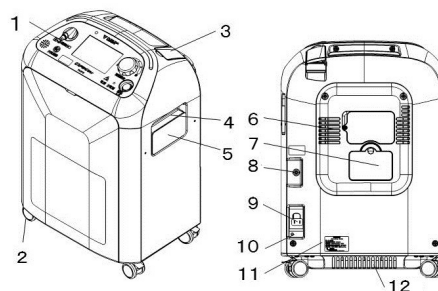
### 7. 動作保証条件

- 本装置は室内で使用してください。
- ・ 動作温度 : 5～40℃
  - ・ 動作湿度 : 30～75%RH（結露無きこと）

## 構造・構成ユニット

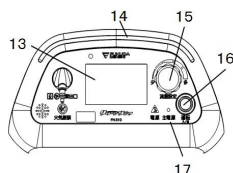
### 1. 各部の名称

#### (1) 外筐



1.	酸素出口
2.	キャスター
3.	エニパール接続口
4.	取っ手
5.	チューブ掛け
6.	空気取り入れ口
7.	ダストボックス
8.	酸素ポンベ接続口
9.	電源コード
10.	ブレーカー
11.	定格銘板
12.	排気口

## (2)操作面



13.	液晶画面
14.	警報ランプ
15.	流量設定スイッチ
16.	運転スイッチ
17.	主電源ランプ

## 2.付属品

- ・本装置と組み合わせて使用できる製品には次のものがあります。

\*・同梱されている付属品の品目は、取扱説明書をご覧ください。

### (1)医療機器

- 1)アトム酸素鼻孔カニューラ(OX-20S ソケットタイプ)  
承認番号 : 21900BZX00686000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)
- 2)アトム酸素鼻孔カニューラ(OX-20M ソケットタイプ)  
承認番号 : 21900BZX00686000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)
- 3)アトム酸素鼻孔カニューラ(OX-20L ソケットタイプ)  
承認番号 : 21900BZX00686000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)
- 4)アトム酸素鼻孔カニューラ(OX-28 成人用ソケットタイプ)  
承認番号 : 21900BZX00686000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)
- 5)アトム酸素鼻孔カニューラ(OX-28 小児用ソケットタイプ)  
承認番号 : 21900BZX00686000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)

- 6)オキシジェンカニューラ  
承認番号 : 22000BZX01573000  
製造販売業者 : 日本メディカルネクスト (株)

- 7)オキシマイザーコンサービングカニューレ  
承認番号 : 22100BZX00505000  
製造販売業者 : 日本ルフト (株)

- 8)オキシマイザーペンダント  
承認番号 : 22100BZX00506000  
製造販売業者 : 日本ルフト (株)

- \*9)ニッセイ酸素鼻孔カニューラ(OX-01S)  
認証番号 : 21900BZX00688000  
製造販売業者 : (株) ニッセイエコ

- \*10)ニッセイ酸素鼻孔カニューラ(OX-01M)  
認証番号 : 21900BZX00688000  
製造販売業者 : (株) ニッセイエコ

- \*11)ニッセイ酸素鼻孔カニューラ(OX-01L)  
認証番号 : 21900BZX00688000  
製造販売業者 : (株) ニッセイエコ

- 12)アトム酸素フェースマスク成人用  
承認番号 : 21900BZX01122000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)

- 13)アトム酸素フェースマスク成人用／コンデンサーバック付  
承認番号 : 21900BZX01122000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)

- 14)アトムペディマスク OX-130  
承認番号 : 21900BZX01121000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)

- 15)呼吸療法システム  
(酸素供給チューブ 36190 OXT-3400)  
承認番号 : 21100BZY00027000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)

- 16)呼吸療法システム  
(酸素供給チューブ 36191 OXT-3402)  
承認番号 : 21100BZY00027000  
製造販売業者 : アトムメディカル (株)

- 17)オキシジェンチューブフレアコネクタータイプ  
承認番号 : 22000BZX01576000  
製造販売業者 : 日本メディカルネクスト (株)

- 18)シリコンコネクティングチューブ  
承認番号 : 21800BZX10024000  
製造販売業者 : 富士システムズ (株)

- 19)カニューラ中継コネクター RJ-10  
承認番号 : 22000BZX00039000  
製造販売業者 : フクダ電子 (株)

- 20)ファイアセイフ  
届出番号 : 13B1X00009000091  
製造販売業者 : (株) 小池メディカル

- 21)グリーンバルブ  
届出番号 : 11B3X00052060301  
製造販売業者 : (株) 大東バルブ製作所

- 22)圧力計付医療用酸素圧力調整器 MORG 型  
届出番号 : 20B2X00025000005  
製造販売業者 : (株) ユタカ

## (2)非医療機器

- 1)取扱説明書
- 2)説明シート
- 3)フロアマット(FH-22MAT)
- 4)リモコン(FHR-100)
- 5)パワーバンド

## \*3.接続できる外部機器、システム

### \* (1)エニィパル ATP-01

- 認証番号 : 231ADBZX00013000  
製造販売業者 : フクダ電子 (株)

### (2)エニィパル(ATP-02)

- 認証番号 : 222ADBZX00026000  
製造販売業者 : フクダ電子 (株)

### (3)エニィパル ATP-03

- 認証番号 : 227ADBZX00023000  
製造販売業者 : フクダ電子 (株)

## 機能

### 付帯機能

本装置の付帯機能として以下があります。

\*以降、エニィパルは、エニィパル(ATP-02)およびエニィパル ATP-03 を指す。

	付帯機能名称	機能の説明
1.	通信機能 (Bluetooth 通信)	本装置の運転情報と発生した警報情報などを当社指定の外部機器に Bluetooth で通信する機能です。
2.	通信機能 (赤外線通信)	リモコンからの赤外線通信により設定流量の変更、運転 ON/OFF 等を行うことができる機能です。
3.	通信機能 (USB 通信)	*エニィパルをエニィパル接続口に接続して本装置の運転情報などを通信する機能です。
4.	エニィパル充電機能	エニィパルがエニィパル接続口に接続されると充電を行う機能です。
5.	自動湿度付与機能	装置内部の加湿部に水分透過膜などを配する事により、精製された酸素に周囲空気より取り入れた湿分を付与する機能です (ただし、周囲湿度を超えません)。
6.	表示明度調整機能	輝度センサで周囲の明るさを検知して、本装置の表示光強度を調整する機能です。
7.	音声ガイダンス	流量設定などの装置の状態や警報の状態をスピーカから音声で知らせる機能です。
8.	流路切替機能	停電や装置異常の時に、酸素ボンベ接続口に接続された酸素ボンベからの流路に切り替える機能です。

## 作動・動作原理

本装置は、コンプレッサにより室内空気を、ゼオライトを充填した吸着筒に送り、連続的に高濃度の酸素を取り出す装置であり、空気を加圧するためのコンプレッサ、回路を切り替えるための電磁弁マニフォールド、ゼオライトを充填した吸着筒、精製した酸素を一時的に蓄える製品タンク、回路内圧監視の製品タンク圧力センサ、カニユーラや延長チューブの状態を監視するチューブ圧センサ、酸素流量の調節と酸素濃度を監視するフローコントローラ（ガス流量調整器・酸素センサ）、これらを制御する CPU、および酸素を加湿する加湿部により構成されます。

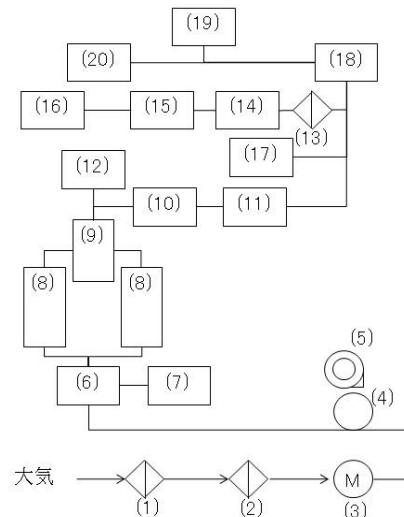
このゼオライトは、アルミナや珪酸を主成分とする吸着剤で、高圧下で空気中の窒素を選択的に吸着し、低圧下でこの窒素を放出する性質を有します。また、吸着筒が常に高圧状態であると吸着剤に窒素が吸着されたままとなるため、2 つの吸着筒を用い圧力を高圧（吸着）と低圧（脱着）にスイングして使用します。

空気取り入れ口より取り入れた空気は、フィルタユニットを介してコンプレッサに取り込まれます。コンプレッサで圧縮された空気により吸着筒 1 が加圧され窒素を吸着している時、吸着筒 2 は減圧され、装置外に窒素を排気口より放出します。同様に吸着筒 1 が減圧されている時は吸着筒 2 が加圧されます。この回路の切り替えは電磁弁マニフォールドで行い、製品タンクが設定圧力に達すると CPU による制御信号により、電磁弁マニフォールドを切り替えます。

精製された酸素は、レギュレータにより圧力を制御し、フローコントローラで設定された流量に制御しながら酸素濃度を監視します。その出力圧力をチューブ圧センサで随時監視します。その後、エアフィルタを通し、中空糸膜による加湿部を通して加湿され、延長チューブまたはカニユーラを経て患者に供給されます。患者への濃縮酸素の供給流量はフローコントローラ（ガス流量調整器）で設定され、設定値は液晶画面の設定流量表示（ガス流量インジケータ）に表示されます。

CPU では、酸素濃縮装置の稼働積算時間を計測し、メンテナンスモード時の液晶画面に積算時間表示を行います。この積算時間は、リセット不可能です。また、CPU にて、電源供給状態や各種センサの計測値を監視し、電源供給が停止した場合、電源異常ランプの点灯と警報ランプの点滅、ブザーを鳴らすことにより、警報を発生します。また、濃縮酸素の流量や圧力、濃度がセンサで計測され、規定された範囲からの逸脱した場合、その他の装置の異常を検出すると連絡アイコンや警報ランプ、ブザー音および音声アナウンスを組み合わせ、警報を発生します。流路切替機能は、本装置が酸素供給中に停電を検知した場合に、電源異常警報を発生するとともに、自動で酸素ボンベ接続口からの流路を開放してボンベより酸素を供給します。また、装置異常により警報を発生するとともに酸素の精製が停止し供給が途切れた場合には、液晶画面に切替ボタンが表示され、患者、または介護者が切替ボタンを押すと、酸素ボンベ接続口からの流路を開放してボンベより酸素を供給します。

## 空圧回路



(1)	フィルタユニット
(2)	ヘパフィルタ
(3)	コンプレッサ
(4)	放熱器
(5)	ファン
(6)	電磁弁マニフォールド
(7)	サイレンサ
(8)	吸着筒(ゼオライト)
(9)	製品タンク
(10)	レギュレータ
(11)	フローコントローラ(ガス流量調整器・酸素センサ)
(12)	製品タンク圧センサ
(13)	エアフィルタ
(14)	加湿部
(15)	酸素出口
(16)	カニユーラ／延長チューブ
(17)	チューブ圧センサ
(18)	流量切替機能
(19)	ボンベ圧センサ
(20)	酸素ボンベ接続口

## 【使用目的又は効果】

### 使用目的

本装置は、吸着筒を用いて周囲の空気から窒素を分離することにより酸素分圧の高い空気を作り出し、在宅酸素療法を意図した療養者へ必要量の高濃度酸素ガスを連続的に供給する装置です。

主に慢性呼吸不全患者へ供給することにより予後改善を図るために使用します。

### 【使用方法等】

詳細に関しては、取扱説明書を参照してください。

### 使用前（操作準備）

- 1.カニユーラを酸素出口に取り付けます。
- 2.延長チューブを使用する場合は、延長チューブを酸素出口に取り付け、ジョイントを介してカニユーラを取り付けます。
- 3.電源コードを接続する前に運転スイッチを押して警報が発生することを確認します。
- 4.流路切替機能を使用する場合（停電時および装置異常時に酸素ボンベから自動または手動により酸素供給を行います。）は、次の手順を続けて行います。
  - (1)酸素ボンベの酸素残量を確認します。
  - (2)酸素ボンベ接続用チューブを使用して、本装置の酸素ボンベ接続口と酸素ボンベを接続します。
  - (3)酸素ボンベ接続用チューブの両端の接続部分をパワーバンドで固定します。
  - (4)酸素ボンベ側の流量を処方箋に従い設定します。

## 使用中（操作方法）

- 1.電源コードのプラグを商用電源 AC100V のコンセントに接続します。
- 2.主電源ランプの点灯と液晶画面の表示を確認します。
- 3.運転スイッチを押します。
- 4.設定流量表示の表示を確認します。
- 5.流量設定スイッチを処方箋に従い設定します。
- 6.カニユーラのチューブを指で潰して警報の発生を確認します。
- 7.カニユーラを鼻に装着します。

## 使用後

- 1.運転スイッチを2秒以上押して運転を停止させます。
- 2.カニユーラを鼻から外します。
- 3.カニユーラを酸素出口から外します。
- 4.電源コードのプラグをコンセントから外します。
- 5.本装置を長期間使用しない場合、流路切替機能用の酸素ポンペを以下の手順で取り外してください。
  - (1)酸素ポンペのバルブを閉にします。
  - (2)酸素ポンペ接続口から酸素ポンペ接続用チューブを取り外します。

## 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1.本装置を使用する前に本装置が正常でまた安定に動作することを確認してください。
- 2.本装置を使用する前にカニユーラなどの接続が正確でまた完全であることを確認してください。
- 3.診断時に処方された時間・流量を超えないように注意してください。
- 4.化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所には設置しないでください。
- 5.水のかかる場所、加温加湿器からの加湿空気が直接本装置にかかる場所には設置しないでください。
- 6.ホコリ、タバコの煙、線香の煙、油の煙（台所など）、アンモニアの多いところには設置しないでください。
- 7.直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 8.傾斜、振動、衝撃など不安定状態の場所には設置しないでください。
- 9.流路切替機能は、緊急時に限定してご使用ください。電源および装置異常の回復見込みが無い場合、速やかに直接酸素ポンペから患者に酸素を供給する方法に変更してください。
- 10.流路切替機能には、次の2つの切替方法があります。
  - (1)自動切替：本装置が運転中に電源異常が発生した場合には、酸素ポンペからの流路に自動的に切り替わります。
  - (2)手動切替：本装置に異常が発生した場合、タッチパネルからの操作で流路の切り替えができます。

## 【使用上の注意】

### 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

植込み型心臓ペースメーカー等の体内植込み型電子機器を装着している患者の場合は慎重に適用してください。

### 重要な基本的注意

- 1.指定の機器以外、接続しないでください。  
[本来の性能や機能が損なわれ、重大な事故を引き起こす恐れがあります。]
- 2.アラームが発生した場合は、まず患者の状態を確認し、安全を確保してください。発生したアラームに応じて、適切な処置を行い、アラームの原因を取り除いてください。
- 3.高濃度の酸素を吸入中に、タバコ等の火気を近づけないでください。  
[チューブや衣類等に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因になります。]<sup>[1]</sup>
- 4.酸素吸入中は本装置の周囲2m以内に火気を置かないでください。また、周りの人も含めタバコを吸わないでください。  
[火傷・火災の恐れがあります。]<sup>[1]</sup>

- 5.火気の取り扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣類等が燃えたり、火災になったりすることはないので過度に恐れることはなく、医師の指示どおりに酸素を吸入してください。<sup>[1]</sup>
- 6.酸素ポンペ等のバックアップ機器を備え付けてください。  
[停電や故障等の本装置停止時および雷等による使用中止時に、低酸素血症や酸素不足に伴う症状があらわれることがあります。]
- 7.下記のような症状または異常があらわれた場合には適切な処置を行ってください。
  - ・強い息切れ、爪の変色
  - ・強い動悸
  - ・発熱
  - ・頭痛
  - ・強い眠気
  - ・痰の増加、変色
  - ・咳の増加
  - ・尿の減少、手足のむくみ
  - ・鼻、口、のどのかわき
- 8.ラジオやテレビから1m以上離してください。
- 9.EMC(電磁的両立性)に関して、本装置の電磁環境下の能力は、安全規格 JIS T 7209:2007 および JIS T 0601-1-2:2012 の要求事項に適合しています。しかし、本装置の周囲に限度を超えた強い電磁波や磁界、静電気などが存在すると、誤動作を起こすことがあります。本装置の使用中に意図せぬ誤動作が発生した場合には電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。  
次に一般的な原因と対策の一例を挙げます。
  - (1)静電気による影響
    - ・乾燥した環境（部屋）では静電気の放電が起こりやすくなりますので部屋を加湿してください。
  - (2)落雷などによる影響
    - ・近くで雷が発生した場合、過大な電圧が本装置に誘起されることがあります。危険と思われる場合は、酸素ポンペに切り替えてください。
  - (3)電源コンセントを伝わって、他の機器から高周波雑音が混入する場合
    - ・雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策してください。
    - ・雑音源が停止できる機器であれば、その使用をやめてください。
    - ・他の電源コンセントから電源をとってください。
- 10.カニユーラや延長チューブの取り外しは、チューブを持って引くなど、無理な力をかけないでください。  
[カニユーラや延長チューブの破損につながる恐れがあります。]
- 11.カニユーラや延長チューブに傷、破れ、折れ曲がりなど無いことを確認してください。
- 12.カーテンなど、空気取り入れ口を塞ぐ恐れのある物のそばから離してください。
- 13.本装置の上に物を置いたり、座ったりしないでください。
- 14.本装置と床面の間に物を入れないでください。
- 15.超音波式の加湿器を同じ部屋で使用しないでください。
- 16.付近に火災が発生した場合、自身の安全を確保することを優先とし、可能であれば運転スイッチを切り、電源コードを電源コンセントから抜いてから、安全な場所に退避してください。
- 17.設置箇所の電源が、機器の電氣的定格を満たしていることを確認して設置してください。
- 18.本装置（背面及び側面）と壁面は15cm以上離してください。
- 19.電源の延長コードは使用しないでください。
- 20.使用中は、装置をいかなる物でも覆わないでください。
- 21.本装置を長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 22.運転スイッチで運転を停止してから電源コードを抜いてください。  
[本装置に酸素ポンペを接続しているときに電源コードを先に抜くと、本装置が停止中も流路切替機能により酸素ポンペから酸素が供給され、ポンペが空になる可能性があります。]

23. 流路切替機能（酸素ボンベ接続口を経由して酸素ボンベから酸素を供給する機能）は、接続した酸素ボンベからの酸素供給を保証しているものではありません。停電および装置異常の場合、本装置では酸素供給を監視することができませんので、電源や機器の異常時には患者への酸素供給状況の確認を必ず行ってください。また、この確認は継続的に行ってください。
24. 本装置に接続した酸素ボンベと別に緊急用酸素ボンベを用意してください。

## 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

### 併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称	臨床症状・処置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	*併用不可	MRI 装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。
人工呼吸器	*併用不可	性能の劣化や警報が機能しない恐れがあります。
電気手術器（電気メス）	*併用不可	電気メスから発生する高周波エネルギーによって本装置が誤動作を起こしたり故障する恐れがあります。また、カニューラ周辺が高濃度酸素雰囲気となっており、爆発または延焼の恐れがあります。

### 併用注意（併用に注意すること）

他の医療機器と併用するときは、併用する医療機器の添付文書、取扱説明書を確認し、影響の有無を確かめ誤動作する場合には使用しないでください。  
〔性能の劣化や警報が機能せず、医療事故につながる恐れがあります。〕

## 【保管方法及び有効期間等】

### 保管方法

- 保管環境  
本装置は下記場所には保管しないでください。
  - 化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所
  - 水のかかる場所、高温多湿な場所、加温加湿器からの加湿空気が直接本装置にかかる場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 傾斜、振動、衝撃など不安定状態の場所
- 保管時の注意
  - 本装置を、長時間使用しない場合は電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
  - 長時間（1 か月以上）使用しない場合でも、1 か月に 1 回、24 時間動作させ、アラームが発生するなど、本装置に異常が無いか確認してください。
- 保管条件
  - 保管温度：－10～60℃
  - 保管湿度： 10～95%RH（結露無きこと）

### 耐用期間

- 6 年〔自己認証（自社データ）による〕
- 所定の定期メンテナンス、点検、校正等が適切に行われた場合の標準的な耐用期間です。
  - 指定の保管方法を守らない場合は、耐用期間が短くなることがあります。

## 【保守・点検に係る事項】

### 使用者による保守点検事項

#### 日常の点検とお手入れ

- 日常の点検は取扱説明書に従って毎日実施してください。
- 本装置の外装を清掃するときは、運転スイッチを切り電源コードを抜き、乾いた布か、よくしぼった布でふき取ってください。
- 詳細は、本装置の取扱説明書「メンテナンス」をご覧ください。
- 酸素ボンベ接続口に接続している酸素ボンベの酸素残量を確認してください。
- 酸素ボンベのバルブが開いていて、処方通りの流量に設定され酸素ガスが供給されていることを確認してください。
- 酸素ボンベ接続チューブの接続とチューブの折れ等が無いことを確認してください。

#### 注意事項

- 本装置の外筐を開けないでください。
- 液体が本装置内部に入らないようにしてください。
- 本装置や付属品の清掃には、アルコールや漂白剤は使用しないでください。

### 業者による保守点検事項

- 定期点検、およびオーバーホールは、故障や事故を未然に防ぎ、安全性・有効性を維持するために不可欠な作業です。
- 定期点検、およびオーバーホールの内容は、記録してください。
- 定期点検、オーバーホール、定期交換部品の詳細は、最寄りの販売会社や営業所、緊急連絡先までお問い合わせください。

#### 定期点検

- 3 か月に一度、すべてのケーブルや装置・付属品の損傷、漏れ電流、全アラーム機能をチェックしてください。また、すべてのラベルが確実に判読できることを確認してください。

#### オーバーホール

- 稼働時間 15,000 時間毎に、オーバーホールを実施してください。

#### 定期交換部品

- 3 か月に一度、本装置の安全性、機能、性能などの信頼性を維持するため、定期的に交換の必要な部品があります。詳細は、最寄りの販売会社や営業所、緊急連絡先までお問い合わせください。

## 【主要文献及び文献請求先】

### 主要文献

- 〔1〕：在宅酸素療法における火気の取扱いについて。  
薬食安発第 0115 第 1 号

### 文献請求先

フクダ電子株式会社  
電話番号：03-3815-2121(代)

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者  
フクダ電子株式会社  
電話番号：03-3815-2121(代)

緊急の連絡先  
機器に表示してある緊急連絡先